

平成27年度 第1回スポーツ医・科学委員会

平成27年6月18日(木)に、第1回スポーツ医・科学委員会が福島テルサにて開催されました。今年度よりスポーツ医・科学委員長に就任した堀川哲男氏が議長となり、ドーピング防止活動のためのリーフレットの作成について、また国体選手における薬とサプリメントについての意識調査の実施について協議されました。

ドーピング防止活動について、多くの使用可能市販薬の商品名を選手に提供してはどうか、スポーツファーマシストの存在を広く競技者に周知するべき、などの意見があがりました。

これに対し、使用可能市販薬はJADAホームページや日体協のホームページにも掲載されていること、また詳細については県薬剤師会及び公立藤田病院薬剤部に問い合わせる方法であること、スポーツファーマシストについては各競技団体の担当者を割当てしていることなど、佐藤事務局長より説明がありました。

国体選手における薬とサプリメントについての意識調査の実施については、今後も引き続き進めていくべきという意見があがりました。調査内容から、「うっかりドーピング」を防ぐために関係機関と連携を深めていく必要があるなどの意見もあがりました。



報告事項

- (1) 平成26年度日本体育協会スポーツドクター代表者協議会について
- (2) 平成27年度東北総合体育大会・国民体育大会帯同ドクター・帯同トレーナーについて
- (3) 平成27年度ドーピング防止活動推進事業について
- (4) 平成27年度日本体育協会公認スポーツドクターおよびアスレティックトレーナー養成講習会への推薦状況について
- (5) 平成27年度福島県体育協会認定アスレティックトレーナースキルアップ講習会について
- (6) 平成27年度福島県体育協会加盟競技団体へのドーピング防止啓発活動について

協議事項

- (1) 2015ドーピング防止活動のためのリーフレットの作成について
- (2) 「国体選手における薬とサプリメントについての意識調査」の実施について

平成28年度 第1回スポーツ医・科学委員会

6月15日(水)、福島テルサ4階「つきのわ」にて、公益財団法人福島県体育協会第1回スポーツ医・科学委員会が開催されました。

委員会では、堀川哲男委員長(公立藤田総合病院院長)からのあいさつ後、委員長が議長となり、「平成27年度日本体育協会スポーツドクター代表者協議会」は委員長から、「平成28年度福島県体育協会認定アスレチックトレーナー養成講習会やスポーツ栄養士養成講習会」については佐藤事務局長から報告がありました。



また、協議事項として「2016アンチ・ドーピング活動のためのリーフレットの作成」をはじめ、「国体選手における薬とサプリメントについての意識調査実施」について、佐藤事務局長からの説明を受けて、委員の皆様から建設的な意見をいただきながら、慎重審議がなされました。この中で、「アンチ・ドーピングの目標は常に0であることが大前提」、「選手における薬やサプリメントの使用についての意識を高めさせること」が重要であることが再確認されるなど、様々な立場から貴重な意見をいただくことができました。

これを受け、本協会はよりよい事業の推進にあたってまいります。第2回は、来年1月12日(木)を予定しております。

平成29年度 第1回スポーツ医・科学委員会

6月14日(水)、福島テルサ「つきのわ」にて、公益財団法人福島県体育協会第1回スポーツ医・科学委員会が開催されました。

委員会では、はじめに堀川哲夫委員長(公立藤田総合病院院長)からのあいさつがありました。

報告事項の中では、まず委員長から「平成28年度日本体育協会スポーツドクター代表者協議会」について報告がありました。次に尾形事務局長からは、本協会事業の推進活動状況についての報告がありました。



その中でも特に、「国体選手における薬とサプリメントについての意識調査」の話題では、様々な立場からたくさんの意見をいただき、慎重審議がなされ、選手における薬やサプリメントの使用についての意識を高めさせることが重要であることが再確認されました。

協議事項の中では、「2017アンチドーピング啓発活動のためのリーフレット」の内容や効果的な活用方法についても確認していただきました。

この委員会での委員の皆様方の貴重な意見を大切にしながら、よりよい推進事業にあたってまいりたいと思います。第2回は、来年1月17日を予定しております。